

Shinyuri  
Jazz Square  
vol. 62

# 甘くて軽やかな音色の楽器 ヴィブラフォン



ピアノ  
廣瀬 みちる



佐瀬 正



ドラム  
利光 玲奈



ギター  
田辺 充邦



ヴィブラフォン  
宅間 善之

ジャズの名手が愛した名曲を  
日本を代表する名手 宅間 善之 の演奏で!

| 演奏予定曲 | ルパン三世のテーマ、スターダスト、Shot Gun、  
Falling Grace、Django、Softly as in a morning sunrise

2024

1.19

FRI

開場 / 18:30  
開演 / 19:00

しんゆりジャズスクエア vol.62

川崎市アートセンター アルテリオ小劇場

[新百合ヶ丘駅北口徒歩3分] 川崎市麻生区万福寺6-7-1 ☎044-955-0107

〔全席指定・税込〕発売日：2023年11月20日（月）

〔一般チケット〕 3,500円

◎2枚セット券 6,000円

障がい者割引チケット 2,000円 | 電話・各窓口にてお取り扱い。（要障がい者手帳／付き添い1名迄同額）  
※付き添いの方が予約される場合は、お電話のみにて承ります。詳細は川崎市アートセンターまで。

◎年間パスポートをご利用のお客様は、追加券を2,500円で販売いたします。  
◎20名様以上のご鑑賞は団体割引があります。川崎市アートセンターまでご相談ください。

※発熱や咳など体調に不安のある方はご来場をお控えください。また手指消毒、咳エチケット等にご配慮ください。

主催  
川崎市アートセンター  
044-955-0107

川崎市市制100周年記念プレ事業  
共催：株式会社エアブレイン(マイタウン発行元)、株式会社ブルーラジオ  
後援：NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり、「音楽のまち・かわさき」推進協議会



COLORS  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th



## 【ヴィブラフォン】 宅間 善之 (たくま よしゆき)

幼少の頃よりマリリンが奏者である父・宅間久善の影響を受けマリリンを始める。中学、高校在学中、マーチングバンド部のトップマリリンが奏者として活躍。全国大会優勝他、海外遠征も数多くこなす。この頃よりジャズに興味を持ち、マリリンと並行してヴィブラフォンを始め、ジャズ理論を村井秀清に師事。高校卒業後、「Suicide Sports Car」のメンバーとしてプロデビュー。同バンド脱退後、アメリカのパークリー音楽院に留学。ヴィブラフォンをテイブ サミュエル、エドセインドン、ピクター メンドーサ、マリリンを三村奈々恵に師事。在学中に多数のコンサート、ライブ、レコーディングセッションをこなし、上原ひろみ、Groove Line、元晴 (Soil & Pimp Sessions) 等と共演。2002年、Most Active Mallet Players Awardを受賞。2003年、同大学を卒業。帰国後はライブハウスや有名ホテルでのプライベート、パーティー、ラウンジ演奏などで活動する傍ら、スタジオミュージシャンとして氷川きよし、Rag Fair、タミコ、quasimode、Jil-decoy associations、手塚治虫アニメ「ブラックジャック二人の黒い医者」等のレコーディングや、アーティストのライブサポート、実父である宅間久善のレコーディングとコンサートツアーにも参加し、楽曲提供も行っている。2007年にはジャズの老舗ライブハウス「スイートベジブル STB139」への出演や、「瀬戸内寂庵訳「源氏物語」より詞劇 艶は匂へど…」に音楽担当として参加、好評を博す。これを機に実弟政彰と「MALLET×PIT」を結成、2枚のアルバムをリリース。また自己のグループ「Vibrasonic」の活動も開始し、首都圏有名ライブハウスで活躍中。2013年10月にはファーストアルバム「diario ~ディアリオー~」を、2014年8月にはLIVE LAB.から「宅間善之 Vibrasonic」のライブDVDを発売。近年は「Vibrasonic」と並行して「Wu-Xing」(ラテンジャズ)、「Kiss the Cats」(ジャズ)「Mr. Jazz Quartet」(ジャズ)のレギュラーメンバーとしても活動。2020年には各バンドでのアルバムもアルバムも発表した。女優 渡辺えりのコンサートツアーメンバーとしての活躍、ジェームス・ブラウン、ビリー・ジョエル、ポール・サイモンなどの編曲家としてグラミー賞を多数受賞したジャズピアニスト、デビッド・マシューズ、オカリナ奏者宗次郎との競演など、ジャズ、フュージョンを中心にラテン音楽、クラブミュージック、演歌、ヒーリングミュージックなどジャンルを問わずに精力的に活動している数少ないマレット&パーカッション奏者である。



## 【ドラム】 利光 玲奈 (としみつ れな)

埼玉県出身。ソプラノ歌手である母の影響により、幼い頃から音楽に親しんで育つ。埼玉県立大宮光陵高校音楽科卒業。打楽器専攻としてクラシックの音楽教育を受ける。スネアドラム、マリリンを村本寛太郎氏、鷹羽香緒里氏に師事。大学からジャズドラムに転向。洗足学園音楽大学ジャズコースに入学し、ジャズドラムを大坂昌彦氏、原大威力氏に師事。学内のライブにて、向井滋春氏 (tb)、エリック宮城氏 (tp)、伊藤君子氏 (vo) と共演。大学在学中に、六本木アルフィーや南青山ボディアンドソウル、銀座スウィングなどの老舗ジャズクラブに出演を果たす。2018年3月、洗足音楽大学を首席で卒業。同時に卒業研究優秀者に選出される。同年9月、タモリ氏の主催するヨットレース、タモリカップに初参加。マリンセラーズでスネアドラムを演奏。2019年2月、話題を呼んだホリエモン万博に出演。2019年6月、オランダのConservatorium van Amsterdamで行われたKeep an eyes summer jazz workshopに参加。Tineke Postma氏 (as)、John Riley氏 (ds)、Dick Oatts氏 (as)、Ben Van Gelder氏 (as) 等に指導を受ける。Amsterdam Blue Noteに出演。2019年10月公開の映画「駆までの道をおしえて」の劇中音楽を担当。現在、中村誠一氏 (ts)、谷口英治氏 (cl)、大友義雄氏 (as)、天野丘氏 (gt)、田中菜緒子氏 (pf)、岡崎正典氏 (ts) などのバンドに加入。サイドメンだけでなく、自身のリーダーライブも定期的に開催しており、首都圏を中心に精力的に活動中。



## 【ピアノ】 廣瀬 みちる (ひろせ みちる)

幼い頃からクラシックピアノを学び、18歳でジャズに転向。ジャズピアノを越智健二氏、板橋文夫氏に師事。2005年には出身地である神奈川県厚木市の「厚木市制50周年記念あつぎ音楽祭」に出演。現在は自己のピアノトリオを中心に、幅広いジャンルで演奏活動を行う。TVドラマ「最高の離婚」、NHK「BIZ+Sunday」「首都圏ネットワーク」などTVやCMの音楽に多数参加。美しい音色、情景の見える楽曲が持ち味。



## 【ギター】 田辺 充邦 (たなべ みつくに)

10歳からギターを始め、高校時代からジャズに傾倒しジャズギターを宮之上貴昭氏に師事。1985年からプロとしての活動を開始し、1988年に渡米。ニューヨークを中心に多数のミュージシャンとセッションを重ねる。1999年、岸ミツアキトリオで、カリフォルニア州・コンコードジャズフェスティバルに出演。カウంటベイシーオーケストラ、ローズマリークルーニー、マンハッタントランスファーなどと同じステージに立つ。阿川泰子／八代亜紀、森口博子、岸ミツアキ／LOVE NOTES等、ライブやCD・DVDなどのレコーディングセッションにも数多く参加。LOVE NOTESではTV番組のアレンジやCMソングの提供、CMにも出演。PPMのPaul StookeyとLAでレコーディング。テナーサクスのスコット・ハミルトン、ハリ・アレンやピアニストのノーマン・シモンズのツアーに参加。スコット・ハミルトン、ピアニストのジョン・パンチとのレコーディングにも参加。八代亜紀のジャズアルバム、夜のアルバム、夜のつづきの二枚でギターを担当。香港のアーティストVincy ChanやKwangorのレコーディングに参加。アレンジとギターで参加した楽曲「東京は夜の7時」が東京オリンピック2020閉会式のフラッグオーバーセレモニーで使用され好評を得る。最近では映画BLUE GIANTの劇中音楽とサントラに参加。また教則本の出版や音楽雑誌の試奏レポート、ラジオ番組のパーソナリティーと他分野で活躍。ビンテージギターのコレクターとしても有名。最近ではSignature Model Yamaoka guitar MT17を使用。2004年リーダーアルバム、Bernie's Tuneをスキップレコードより発売。チェロとギターのユニット田辺商店でBoss Cradle、Get on a swingを発売。ウェス・モンゴメリー、バーニー・ケッセル、フレディ・グリーン、などを敬愛し、ソロギターからビッグバンドのアンサンブルに至るまで、幅広いスタイルをこなすプレイヤーとして定評がある。



## 【ベース】 佐瀬 正 (さぜ ただし)

12歳の頃よりエレクトリックベースを弾き始める。1991～1997年の間にNYへ留学、1998年にはベテランのピアニスト、デューク・ジョーダンと、1999年にはアンドレ・プレヴィン指揮とピアノでのNHK交響楽団の定期公演にて大坂昌彦 (Ds) と共に共演。レコーディングではピアニスト進藤陽悟プロデュースの二胡奏者のヤンヤンの2003年に順次リリースされた1st、2ndアルバムともに参加。また歌手の中島啓江のバックバンドを務め、二胡奏者のウェイウェイ・ウーとの共演などジャズのみならずポップス、フォーク、ロック、クラシック音楽等、精力的に活動している。作曲家としても2000年7月に弦楽合奏曲「I Sing Your Song」を発表、初演。オルフ室内合奏団、麻生フィルハーモニー管弦楽団、多摩管弦楽団に所属。



### 2023年度のラインナップ

※19:00開演 (18:30開場)  
※企画・日程は変更になる場合がございます。

vol.63 2024年 3月8日 (金) 世の中を明るくした昭和の JAZZ  
昭和黄金期のジャズの名曲がテナーサクスの名手 右近茂の甘い音色の演奏で蘇る!

チケット料金 〇一般 / 3,500円  
【全席指定・税込】 〇2枚セット券 / 6,000円  
発売日:  
2023年11月20日 (月) 〇障がい者割引 / 2,000円

障がい者割引は電話・各窓口にてお取り扱い。(要障がい者手帳/付き添い1名迄同額)

※付き添いの方が予約される場合は、お電話のみにて承ります。  
詳細は川崎市アートセンターまで。

★年間パスポートご利用のお客様は追加券を2,500円で販売しています。

川崎市アートセンター  
新百合ヶ丘駅 北口徒歩3分

※ジャズスクエアをご鑑賞のお客様に、Odakyu OX 万福寺店駐車場のサービス券(90分)を200円にて発行しております。

[ 電話予約 ]  
〇川崎市アートセンター ☎044-959-2255  
9:00~19:30 (12/29~1/3、土日祝・原則毎月第2月曜除く)

[ Webサイト ]  
〇川崎市アートセンター <https://kawasaki-ac.jp/th/>  
電子チケット(web販売のみ)ご希望の方は引取り方法で「チケットれすQ」をお選びください。



[ 窓口販売 ]  
〇マイタウンチケットセンター / 新百合ヶ丘マプレ1F「しんゆり写真工房 彩」内 新百合ヶ丘駅南口徒歩3分 平日9:00~19:00 土日祝10:00~19:00 (12/31~1/3、毎月第3水曜除く)  
〇川崎市アートセンター 新百合ヶ丘駅北口徒歩3分 9:00~19:30 (12/29~1/3、原則毎月第2月曜除く)